

放射線科学域 修士論文書式 (ver. 16.05.06)

1. 論文の形式、書式およびページ数

- (1) ワードプロセッシングソフトウェアを用いて作成する。
- (2) 図表は本文中に挿入する。
- (3) 日本語論文の場合、A4 横書き、40 行/ページ、40 文字/行の 1,600 字/ページとし、100 ページ以内とする。
- (4) 英語論文の場合、A4、ダブルスペースとし、200 ページ以内とする。

2. 論文記述上の注意

- (1) 原則として国際単位系 (SI) 表記法、西暦を使用する。
- (2) 外国語での人名、用語等は、原語で記述する。
- (3) 略語を使用する場合は、最初の記述箇所で原語またはフルスペルを記述し、続いてカッコ内に以降使用する略語を記述する。

3. 引用文献の記載方法

- (1) 引用箇所の右肩に、順に 1)、2) の引用番号を付し、引用文献のページに出典を記載する。
- (2) 雑誌の場合 著者名：題名、雑誌名、巻(号)：引用ページ、発行年の順に記載する。

(例)

井村恒郎：知覚抗争の現象について、精神経誌、60：1239-1247, 1989.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression, Arch Gen Psychiatry, 46: 243-250, 1989.

- (3) 単行本の場合 著者名：題名、監修または編者、書名、版数、：引用ページ、発行社名、発行地、発行年の順に記載する。

(例)

八木剛平, 伊藤斉：躁鬱病. 保崎秀夫編著, 新精神医学：282-306, 文光堂, 東京, 1989.

Gardner MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemia: 327-359, Marcel Dekker, New York, 1987.

- (4) 著者が 4 名以上の場合、3 名を連記し、○○○○他、または○○○○ et al. とする。

4. 論文の構成と体裁

次の順で作成すること。本文から引用文献までのページ下中央にページ番号を記すこと。

ブック形式の場合

- (1) 表紙 (別紙様式 1 を使用し作成すること)
- (2) 要旨 (別紙様式 3 で作成すること)
- (3) 目次
- (4) 本文 (第 1 章 序論から 最終章 結語の順で記述すること)
- (5) 引用文献 (3. 引用文献の記載方法に従うこと)
- (6) 謝辞 (必要な場合)

学術論文形式の場合

- (1) 表紙 (別紙様式 1 を使用し作成すること)
- (2) 要旨 (別紙様式 3 で作成すること)
- (3) 主論文
- (4) 主論文が共著の場合は、共同筆者の許諾書
- (5) 副論文目録ならびに要旨
- (6) 謝辞 (必要な場合)

5. 提出書類および部数

次の表に記載された書類を提出すること。

表 提出書類・部数一覧

	書類	提出形式及び様式	部数
1	学位申請書	PDF データ (別紙様式 2)	1 部
2	主論文	PDF データ (別紙様式 1 により表紙をつける)	1 部
3	学位論文要旨	PDF データ (別紙様式 3)	1 部
4	★共著論文許諾書	PDF データ (別紙様式 4)	1 部
5	★学位論文の研究に関するデータ等使用申込書・許可書	PDF データ (別紙様式 5)	該当部数
6	★研究倫理審査判定通知書の写し	PDF データ	該当部数
7	修士論文の公開・複写許諾に関する申出書	PDF データ (様式 6)	1 部

★…該当者のみ提出すること。